

灯油などの油流出事故にご注意ください

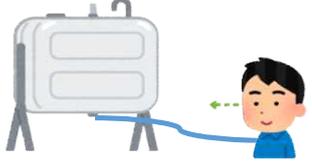
暖房を使う冬季は、灯油を給油する際のちょっとした不注意による油流出事故が増えます。事故で流出した油は敷地から側溝、水路を伝い、河川に流れ出ます。河川の水は水道水や農業用水などに幅広く使われていますが、事故が起こると、上水道の停止、地下水の汚染、川の生き物が死んでしまうなど、人々の生活に重大な被害を与えてしまうことになりますので、灯油などの取り扱いには十分ご注意下さい。

また、油の回収や復旧作業には各種費用（油回収資材、人件費あわせて数十万円）が発生しますが、【処理費用は事故の原因者の負担】となります。



処理費用は油を流した原因者が責任を持って負担しなければなりませんので、ご注意ください。

●ホームタンクの配管や、ポリタンクの破損などが無いか事前に確認しましょう。



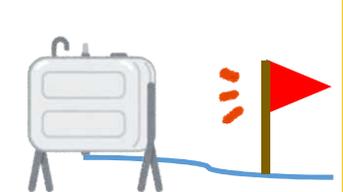
●給油中は絶対にその場から離れないようにしましょう。



●給油後はバルブをしっかり閉めたことを確認しましょう。



●除雪による配管の破損を防ぐために配管の場所に目印を。



もしも流出事故を起こしてしまったり、河川や水路に油が浮いているのを発見した場合は関係機関への早期通報をお願いします。

《連絡先機関》 消防所・市町村・警察署・国や県の機関

時間・場所・どのくらいの量



堤防徒歩点検



堤防徒歩点検は出水期前と台風期の年に2度、実施しています。鷹巣出張所管内では10月19日～21日で5区間に分けて専門家も交えて点検しました。この点検は、出水期間中の降雨などにより堤防や護岸に変状や損傷がないかを通常のパトロールとは別に徒歩により、より細かな部分を確認するものです。

前年度の異常箇所が改善されているかも一つ一つ確認していきます



ここの穴は埋めましょう

鷹巣出張所管内は週に2回、パトロールカーでの河川巡視を行っています。冬期間でも河川や堤防の状況把握や雪捨て場の状況確認、不法投棄、油流出事故が起きていないかなどを確認しています。



編集後記 河川にゴミを捨てる行為は犯罪です

今回の徒歩点検で一区間だけでこんなに沢山のゴミを拾いました。同じビールの空き缶が約3kmの範囲で20本程も落ちていました。袋にまとめて捨てられているゴミもあり、とても残念に思います。一人一人の心掛けが大切です。きれいな河川を守りましょう。(は)

